

経営学研究科ビジネス・イノベーション専攻（修士課程）

理念

経営学研究科は、国際的視野に立ち、創造的ビジネスを推進するイノベーターの人材、研究者や起業家などの高度専門職業人の育成を目指します。

教育方針

本研究科では、少数精鋭のビジネス専門教育を実施すると同時に、日本人・外国人留学生別にきめの細かい進路・就職指導を行なうことにより、世界に通用する高度専門職業人を育成することに力を注ぎます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科では、以下の意欲や学力を有する人を受入れます。

1. ビジネス・イノベーションに対する強い関心と興味を持ち、自らが高度専門職業人となる意欲と学問的探究心がある人。
2. 教職（専修免許状）や税理士・公認会計士等を目指す者は、通常の大学院での研究活動に加え、資格取得のための学習にも積極的に取り組む意欲がある人。
3. ベンチャービジネスを起業し、新しいビジネスモデルを創造し実践する意欲がある人。
4. 海外姉妹校との交換留学プログラムに積極的に参加する意欲がある人。
5. 一定の英語能力や、外国人留学生にあっては日本語能力試験で一級レベルを取得している人。

以上のように高度職業人に求められる資質は、専門的基礎知識や語学力に加えて、グローバルな見識から内外の環境変化に対処する適応力、事態を分析・洞察して新しい価値創造や新しいビジネスモデルを作り上げる創造力、さらには問題解決に向けて革新的戦略計画を立案し実施する指導力（リーダーシップ）などが必要です。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本研究科では、2008年度に新カリキュラムを導入し、修士課程の修了要件として従来の30単位を40単位に改定するなかで、必修科目（「特論」「企業研究」）を増やすなど、本研究科の理念・目的の実現に努力しています。そのため、本研究科に「グローバルビジネス・イノベーション特論」や「マネジメントアカウンティング・イノベーション特論」科目を新設すると同時に、4プラス2（経営学部・経営学研究科）の一貫教育を推進し、税理士・公認会計士や企業家の育成に取り組んでいます。

また国内外での「インターンシップ」を課すことにより、ビジネス・イノベーションを実証的に解明するカリキュラムとなっています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本研究科のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した修士論文が内規に則って審査され合格と判定された者には、修士（経営学）の学位が授与されます。なお修士論文の形式は、①従来の修士論文②インターンシップ研究③プロジェクト研究の3種類の中から選ぶことを可能としています。

また姉妹校である海外大学（韓国東西大学大学院、中国大連理工大学管理学院）との交換留学生（MBAデュアル・ディグリー、1プラス1制度）に選抜され留学し所定の成績を収めた者には、本研究科と留学先の大学の二つの修士（経営学）の学位が授与されます。